

ふくいブランド全国発信強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課		課長名	斉藤 輝幸
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 15 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	3 楽しみを広げる(創造力)]	関連する県の計画等		[
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
県外向けのニュースをより多くのメディアへ届け、福井の知名度、魅力度を向上させる必要がある。						福井県観光客入込数 令和5年:17,598千人(令和6年目標:20,000千人)						
[事業目的]												
北陸新幹線福井・敦賀開業後においても、情報発信の絶対量を増やしていくとともに、全国へ明るく楽しい話題を多く提供することにより、本県の魅力を発信する。												
[事業内容]												
(1)音声メディアによる魅力発信 (2)ふるさと県民プロジェクト ・ふるさと大使による情報発信 ・ブランド大使活動支援 (3)フィルムコミッション推進事業 ・ロケ候補地マップ作成 ・映画・ドラマ・番組制作にかかるロケ支援 ・映画・ドラマ・番組制作会社に対する営業活動												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 4657(R3経済センサス-活動報告)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)		事業名		関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

ふくいブランド全国発信強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	斉藤 輝幸					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 15 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度		
事業実施方法	直営、委託					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	-															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	24,356				24,356											
[予算額の推移等]												(単位:千円)				
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和6年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移			20,740	18,740	18,032	24,356										
2月現計予算額の推移			20,740	18,740	18,032											
決算額の推移			25,740	18,740												
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	観光客入込数(千人) ※暦年 (目標) 実績	12,356	15,191	17,598			(20,000)		令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2～R6)							
活動指標	音声メディアの発信数 (目標) 実績	(12) 12	(12) 12	(12) 12	(12) 12	(12)			～R5:しあわせになるラジオ放送回数 R6～:音声メディアの発信数							
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価							
・事業実績 首都圏でのラジオ放送(年間12回)や取材支援を行い、福井県を 県内外にPR					事業を継続				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
									<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

ふくいの魅力創造・発信応援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課		課長名	斉藤 輝幸
事業主体	県内企業				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	補助			経過年数								
補助率	1/3			3 年								
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 北陸新幹線効果を最大化・持続化]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 福井県の魅力創造・発信につながる企業や団体等の自主的な取り組みを支援し、本県の魅力度や認知度を向上させる必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県観光客入込数 令和5年:17,598千人(令和6年目標:20,000千人)						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業を契機に、企業や団体等の民間の力を活かした福井の魅力創造、観光誘客の促進を図る。												
[事業内容] 企業や団体が恐竜やZEN、そばなど福井を代表する地域資源等を活用して県内外に発信する経費を支援 (1)大規模な魅力発信事業への支援(20,000千円) ・実施主体:企業、団体(ただし県内で実施する事業に限る) ・補助率:県1/3、事業者2/3(上限10,000千円)※ただし、市町の継ぎ足し補助も可能とする。 ・補助対象:恐竜などのコンテンツを活用したハード整備に対する支援 例:県内観光施設を活用した恐竜テーマパークの整備 ・補助件数:2件 (2)小規模な魅力発信事業への支援(2,500千円) ・実施主体:企業、団体 ・補助率:県1/3、事業者2/3(上限500千円)※ただし、市町の継ぎ足し補助も可能とする。 ・補助対象:ふくいの魅力を発信するための独創的な活動に対する経費補助 例:地域ゆかりの偉人に扮した時代行列、福井の食文化の魅力を発信するイベントの開催 ・補助件数:5件												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 事業所数:4,657(R3経済センサス-活動調査)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

ふくいの魅力創造・発信応援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	斉藤 輝幸			
事業主体	県内企業				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			■ 補助金					
補助率	1/3								□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	22,547				22,547									
[予算額の推移等]												(単位:千円)		
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移				22,547	22,547	22,547								
2月現計予算額の推移				22,547	16,899									
決算額の推移				16,491										
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) 実績	12,356	15,191	17,598		(20,000)		令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2～R6)					
活動指標	補助金交付件数	(目標) 実績			(7) 9	(7) 6								
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価						
・事業実績 民間による自発的な魅力発信事業を支援 ハード事業:2件(トヨタカローラ福井(株)、福井県民生活協同組合) ソフト事業:4件((一社)SOE等)								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

越前若狭お城フェス開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課		課長名	齊藤 輝幸
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R6 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	負担金			経過年数						2 年		
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)]		政策 [9 北陸新幹線効果を最大化・持続化]		関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、本県の知名度、ブランド力を向上させる必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県観光客入込数 令和5年:17,598千人(令和6年目標:20,000千人)						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業を記念し、お城をフックとしたイベントを県内で開催することにより、県外のお城ファンの本県への誘客を促進するとともに、県内各地の城の知名度を向上させ、本県における歴史ツーリズムの活性化を図る。												
[事業内容] 越前若狭お城フェスの開催 [時 期] 令和8年1～3月の土日の2日間 [会 場] 嶺南各市町のお城でイベント開催 [来場者] 県内外 約10,000人												
[受益者] 県内観光客						[想定される受益者数] 17,598千人(R5観光客入込数)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

越前若狭お城フェス開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	斉藤 輝幸		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 区分	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	負担金					□ 法定受託事務							
補助率	-												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	11,000				11,000								
[予算額の推移等] (単位:千円)													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					16,610	11,000	実施主体に一部負担金を求めることとなったため						
2月現計予算額の推移					16,610								
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	イベント来場者数 (目標) 実績				(3,000) 10,000	(10,000)							
活動指標	お城関連団体出展数(団体) (目標) 実績				(30) 35								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
・10月13～14日に福井城址周辺において越前若狭お城フェス2024を開催し、1万人を超えるお城ファンが来場				・嶺南において開催 ・県単独開催でなく、開催市町が経費を一部負担するスキームを構築				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	5,610		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

福井の歴史を活用した魅力発信事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課		課長名	齊藤 輝幸	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度	
事業実施方法	委託							□ 補助金					□ その他
補助率	-												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを上げる(創造力)] 政策 [9 北陸新幹線効果を最大化・持続化]				関連する県の計画等		[]						
[解決すべき問題・課題] ドラマや番組、小説等で福井を取り上げてもらい、福井の知名度、魅力度を向上させる。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県観光客入込数 令和5年:17,598千人(令和6年目標:20,000千人)							
[事業目的] 2025大河ドラマ「べらぼう」(杉田玄白や解体新書が登場見込み)や2026大河ドラマ「豊臣兄弟！」(柴田勝家や朝倉義景が登場見込み)とのゆかりにより福井の歴史の魅力を全国に発信する。													
[事業内容] (1)出演者トークショー開催 (2)杉田玄白リーフレットの制作 (3)題字制作者・石川九楊氏による講演会の開催 (4)「書」ワークショップ (5)蘭学サミット(第2回)の開催 (6)ゆかりの地リーフレットの制作 (7)雑誌等へのタイアップ記事掲載 (8)明治大学との連携講座 (9)大河スタッフメディアツアー (10)NHKへの要望活動、情報提供													
[受益者] 県内観光客						[想定される受益者数] 17,598千人(R5観光客入込数)							
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 大河ドラマを活用した魅力発信事業 (実績) 大河ドラマ「光る君へ」と本県のゆかりを全国に発信。 (大河ドラマ館の整備、ドラマ出演者トークイベント等の開催)					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況							

福井の歴史を活用した魅力発信事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	斉藤 輝幸		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	
事業実施方法	委託								□ 補助金				
補助率	-								□ その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	16,565				16,565								
[予算額の推移等] (単位:千円)													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移							16,565						
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) 実績	12,356	15,191	17,598	(20,000)	(20,000)	(20,000)		令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26～R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2～R6)			
活動指標	雑誌タイアップ回数	(目標) 実績				(3)	(3)						
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点					事業評価			
										□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額
										□ 継続	□ 休止	□ 完了	
										□ 整理統合	□ 廃止	□ その他	

歴史観光コンテンツ造成支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課		課長名	齊藤 輝幸
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	委託			経過年数								
補助率	-			3 年								
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 北陸新幹線効果を最大化・持続化]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 観光客のニーズが「モノ」から「コト」に移り変わる中、各地の歴史観光コンテンツを創出することが必要						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県観光客入込数 令和5年:17,598千人(令和6年目標:20,000千人)						
[事業目的] 歴史的背景に基づいた体験プログラムなどを歴史研究家のアドバイスを得て、歴史観光コンテンツ(歴史の楽しみ方)を創出することにより、地域の魅力向上、歴史を活かした交流拡大を図る												
[事業内容] (1)歴史専門家の活用 ・歴史や文化に造詣の深い専門家からアドバイスを得て、各地の歴史観光コンテンツを創出 ・歴史や文化に造詣の深い加来耕三氏(歴史研究家・作家)による歴史活用セミナー ・歴史活用コーディネーターである後藤ひろみ氏、地域おこし協力隊による観光コンテンツの掘り起こし (2)新たな歴史観光コンテンツ造成支援 ・上記(1)の歴史専門家等による助言を踏まえ、新たなコンテンツ造成・旅行商品化を目指す地域団体のスタートアップ支援 (歴史活用コーディネーターである後藤ひろみ氏、地域おこし協力隊による地域団体を交えた活動)												
[受益者] 県内観光客						[想定される受益者数] 17,598千人(R5観光客入込数)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 (実績)		事業名		関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 (役割分担) 事業名					
市町との連携状況						他県の状況						

歴史観光コンテンツ造成支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課		課長名	齊藤 輝幸
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	委託			R5 年度 経過年数								
補助率	-			3 年								
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	18,923				18,923							
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				11,517	16,825	18,923	地域おこし協力隊の活動が通年化(R6は半年)					
2月現計予算額の推移				11,517	16,825							
決算額の推移												
前年度までの主な増減理由	地域おこし協力隊の委嘱											
[成果指標等の推移]												
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) 実績	12,356	15,191	17,598	(20,000)	(20,000)	(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26～R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2～R6)			
活動指標	歴史観光コンテンツ創出支援数	(目標) 実績			(3) 3	(4)	(4)	(4)	(11)			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
【事業実績】 ・歴史活用セミナー 5回(計約600名)				・地域おこし協力隊の発信				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

福井が舞台のアニメ「千歳君はラムネ瓶のなか」とのタイアップPR事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課		課長名	齊藤 輝幸		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度		
事業実施方法	委託													
補助率	—													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 北陸新幹線効果を最大化・持続化]	関連する県の計画等 []												
[解決すべき問題・課題] 福井県が舞台のアニメを発信し、福井県の知名度、魅力度の向上や観光誘客につなげる						[問題・課題を表す客観的データ] 令和5年 福井県観光入れ込み数17,598千人								
[事業目的] 福井が舞台かつ作者が本県出身の「千歳君はラムネ瓶のなか」のアニメ放映に合わせ、福井の魅力为全国に発信し、ファンの誘客拡大を図る。														
[事業内容] チラムネフェスの実施 ・アニメヒロイン声優のトークショーの開催 ・作品にゆかりのあるお店のキッチンカーの出店 ・県内外観光客に向けた福井県観光PRブースの設置 ・県内高校生が出演するステージイベントの実施														
[受益者] 県内観光客						[想定される受益者数] 17,598千人(R5観光客入込数)								
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (実績)					事業名		関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (役割分担)			事業名	
市町との連携状況						他県の状況								

福井が舞台のアニメ「千歳君はラムネ瓶のなか」とのタイアップPR事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	斉藤 輝幸				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R7 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度	
事業実施方法	委託											経過年数			1 年
補助率	—														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	6,462	3,231			3,231	新しい地方経済・生活環境創生交付金									
[予算額の推移等]												(単位:千円)			
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和6年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移						6,462									
2月現計予算額の推移															
決算額の推移															
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	観光客入込数(千人) ※暦年	(目標) 実績	12,356	15,191	17,598	(20,000)	(20,000)	(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26～R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2～R6)						
活動指標	イベント開催	(目標) 実績				(1)									
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点					事業評価					
										<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
										<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
										<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

トップブランドとタイアップした福井の魅力発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	齊藤 輝幸	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	-											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 北陸新幹線効果を最大化・持続化]				関連する県の計画等	[]						
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線開業効果を持続するため、本県の知名度、ブランド力を向上させる必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県観光客入込数 令和5年:17,598千人(令和6年目標:20,000千人)						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業後においても、国内外で高い知名度、発信力を有する企業と連携した食や伝統工芸品、恐竜等を活用したプロモーションを実施し、本県のブランド力向上および開業効果の最大化を図る。												
[事業内容] 国内外で高い知名度を有するブランド等とタイアップし、本県の恐竜や食、伝統工芸品などの魅力を発信 ・福井をPRできる恐竜や食、伝統工芸品を活用し、国内外で知名度を有するブランド等とタイアップしたプロモーションを行い、首都圏を中心に福井の情報発信を行う。 県の営業活動の中で、本県とのゆかりや時期、効果が高いと判断する企業から選定												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 4657(R3経済センサス-活動報告)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

トップブランドとタイアップした福井の魅力発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	齊藤 輝幸	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	46,977	13,763			33,214	新しい地方経済・生活環境創生交付金						
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			60,000	43,419	20,995	46,977	タイアップ企業を新たに選定					
2月現計予算額の推移		40,000	60,000	43,419	20,995							
決算額の推移		39,523	60,000	43,419								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数(千人) ※暦年 (目標) 実績	12,356	15,191	17,598			(20,000)		令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2～R6)			
活動指標	タイアップ件数 (目標) 実績	(2) 2	(4) 4	(4) 4	(2) 2	(4)						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
・事業実績 崎陽軒:県産食材を活用したコラボ弁当の販売等 ポケモン:謎解きイベントの開催、ラッピング電車の運行開始、 スタンプラリー、グリーティングイベントの開催				タイアップ企業の見直し				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

旅の目的地となる飲食店開業支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課		課長名	齋藤 輝幸
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R7 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	直営、補助			経過年数						1 年		
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)]			政策 [9 北陸新幹線効果を最大化・持続化]	関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
北陸新幹線福井・敦賀開業の効果を持続させ、本県への誘客および観光消費額の増加を図るため、本県ならではの強みを活かした飲食店の整備が必要。						福井県観光消費額 令和5年:1,255億円(令和6年目標:1,700億円)						
[事業目的]												
本県は、豊かな大地と清らかな水に恵まれ、その風土が育む美味なる食材の産地であるとともに、越前漆器や打刃物、若狭塗箸など食に関わる伝統工芸の産地である。都会にはない本県ならではの強みを活かすため、福井の食材や伝統の技を体感できるレストランの開業を支援し、産地に根差した新しい美食の拠点の拡大を図る。												
[事業内容]												
(1)旅の目的地となる飲食店の開設経費を支援 審査会を実施し、外部の専門家の意見をもとに補助対象事業(2件/年)を選定 ①補助要件・世界的に認められた一流の飲食店で3年以上勤務したことがあるシェフもしくは国内外の料理コンテストで入賞しているシェフが料理を提供すること ・県がターゲットとする客層(富裕層)に合致していること ・県産食材を活用することともに、店舗装飾や食器、什器等に越前漆器や和紙等の伝統工芸品を使用すること ・ヴィーガン等食の禁忌に対応できるメニューや外国語表記など、外国人客に配慮すること ・キャッシュレス決済に対応すること 等 ②対象経費・店舗改修費、厨房設備費等 ③補助率・県 1/2 補助上限:20,000千円												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 事業所数:4,657(R3経済センサス-活動調査)						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふくい食ブランド力向上事業 (実績) 令和4年度から6年度において、13件の飲食店の開業を支援					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

旅の目的地となる飲食店開業支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	齋藤 輝幸			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R7 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度	
事業実施方法	直営、補助										経過年数			1 年
補助率	1/2										1 年			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	40,168				40,168									
[予算額の推移等] (単位:千円)														
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						40,168								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	観光消費額(億円) (目標) 実績				(1,700)		(1,700)		令和6年目標値 1,700億円(ふくい観光ビジョン)					
活動指標	旅の目的地となる飲食店への開業支援 (目標) 実績					(2)		(6)						
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点					事業評価				
										<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
										<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
										<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

福井とターゲット層とのつながり創出事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課		課長名	齊藤 輝幸
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、委託			経過年数						3 年		
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 北陸新幹線効果を最大化・持続化]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井敦賀開業後、本県への誘客および観光消費額の増加を図るため、福井の魅力を求めるターゲット層に効果的に発信していく必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県観光客入込数 令和5年:17,598千人(令和6年目標:20,000千人)						
[事業目的] 富裕層へ向けた発信力のある著名人やメディア関係者を対象としたツアーを開催し、福井の食や食文化、伝統工芸などを雑誌やTV、SNS等の媒体を使い、ターゲット層に響く情報発信を行うことで、誘客促進および観光消費額の増加を図る。												
[事業内容] 富裕層に直接福井の魅力を売り込むつなぎ役を通じ、ターゲット層に効果的に福井を発信する。 <ul style="list-style-type: none"> ・食や伝統工芸等の交流会の開催 ・発信力のあるメディアや著名人等を招聘した「福井の食ツアー」の開催 ・福井県内の食や伝統工芸等の産地で職人等と交流および福井の食、食文化を体感できるツアーを開催 ・著名人による福井の食レビュー執筆 ・海外富裕層向けガストロミーツーリズムの促進 												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 4657(R3経済センサス-活動報告)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績) 事業名					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担) 事業名					
市町との連携状況						他県の状況						

福井とターゲット層とのつながり創出事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	齊藤 輝幸		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度	
事業実施方法	直営、委託												
補助率	-												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	20,319	4,420			15,899								
[予算額の推移等] (単位:千円)													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					21,149	29,885	20,319	世界的なレストランランキング「La Liste」と連携した事業の終了					
2月現計予算額の推移					21,149	29,885							
決算額の推移					21,058								
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光消費額	(目標) 実績	12,356	15,191	17,598			(20,000)		令和6年目標値 1,700億円(ふくい観光ビジョン)			
活動指標	福井の食ツアーの開催	(目標) 実績			(2) 2	(1)	(2)						
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
・事業実績 富裕層をターゲットにした交流会を開催(5月、9月) トップシェフを招聘したガストロノミーフォーラムの開催(10月) 福井県内で雑誌社等を招聘したツアーを開催し、「婦人画報」、「男の隠れ家」等3誌にて、本県が有する食の魅力発信									<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	9,566	
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

旅の目的地となる飲食店魅力アップ事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課		課長名	齊藤 輝幸
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R7 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	委託、負担金			経過年数								
補助率	-			1 年								
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみ広げる(想像力)] 政策 [9 北陸新幹線効果を最大化・持続化]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業の効果を持続させ、本県への誘客および観光消費額の増加を図るため、本県の魅力である食を国内外に発信していく必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県観光消費額 令和5年:1,255億円(令和6年目標:1,700億円)						
[事業目的] 本県には旅の目的となる料理が少なく、観光における追加消費行動の夕食を食べる割合が全国に比べ低い。このため、世界が憧れる著名シェフ等が毎年秋に福井で集結し、食の魅力発信と逸品料理の提供を行うことで、県内飲食店を支える次世代の育成を図るとともに、料理・サービスの質および認知度向上による誘客・観光消費の拡大を目指す。												
[事業内容] <ul style="list-style-type: none"> ・県内飲食店で楽しむレストランウィークの開催 ・国内外の著名なシェフが交流するレストランフォーラムの開催 ・次世代のシェフを養成するための学生向け講習会の開催 ・フランスのシェフを養成するための学生向け講習会 ・一流レストランでの料理・サービス等に関する実地研修 												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 4657(R3経済センサス-活動報告)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

旅の目的地となる飲食店魅力アップ事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	斉藤 輝幸					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度		
事業実施方法	委託、負担金					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	-															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	46,576	18,205			28,371											
[予算額の推移等]													(単位:千円)			
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和6年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移						46,576										
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	観光消費額 (目標) 実績	12,356	15,191	17,598			(20,000)		令和6年目標値 1,700億円(ふくい観光ビジョン)							
活動指標	フォーラムの開催 (目標) 実績					(1)										
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点					事業評価						
										<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
										<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
										<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

大阪・関西万博出展事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	齊藤 輝幸	
事業主体	県、実行委員会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、負担金、委託											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 3 楽しみを広げる(創造力) 〕 政策〔 9 北陸新幹線効果を最大化・持続化 〕				関連する県の計画等		〔 〕					
[解決すべき問題・課題] 本県産業の技術や観光地等の魅力を世界に発信し、本県の認知度さらには本県への旅行者数を向上させる必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県 外国人延べ宿泊者数 令和3年 9,370人 令和4年 12,460人 令和5年 64,900人						
[事業目的] 令和7年に開催される大阪・関西万博において、関西広域連合のパビリオンへ出展し、本県の魅力を世界に発信する。												
[事業内容] ・関西パビリオン全体の運営・撤去工事負担 ・福井県独自展示スペース運営 ・福井県独自展示スペース撤去・レガシー活用 ・関西パビリオン多目的エリア催事出展												
[受益者] 関西広域連合パビリオン来場者						[想定される受益者数] 約2,800万人(博覧会協会による万博会場全体の試算)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

大阪・関西万博出展事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	齊藤 輝幸		
事業主体	県、実行委員会					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、負担金、委託												
補助率	-												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	202,228				202,228								
[予算額の推移等] (単位:千円)													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			6,523	56,550	408,195	202,228	関西パビリオン建設の事業進捗に伴う負担金の減額 本県独自展示スペースの展示制作・設置業務完了に伴う減額						
2月現計予算額の推移			15,390	56,330	408,195								
決算額の推移			15,390	56,330									
前年度までの 主な増減理由	R6:関西パビリオン建設の事業進捗に伴う負担金の増額 本県独自展示スペースの展示制作・設置業務開始に伴う増額												
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	外国人宿泊者数(人) (※暦年)	(目標) (100,000)						(400,000)	令和6年 40万人(ふくい観光ビジョン)				
		実績	9,370	12,460	64,900								
活動指標	関西広域連合パビリオン来 場者数	(目標)						(1,000,000)	関西広域連合本部事務局による試算				
		実績											
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
・監査パビリオンの建築、内装工事にかかる費用負担 ・福井県独自展示スペースの展示制作、工事等				・関西パビリオン全体の運営・撤去工事負担 ・福井県独自展示スペース運営 ・福井県独自展示スペース撤去・レガシー活用 ・関西パビリオン多目的エリア催事出展				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

恐竜ブランドキャラクタービジネス促進強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課		課長名	斉藤 輝幸
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	- 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 北陸新幹線効果を最大化・持続化]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業による交流人口の拡大、および、中部縦貫自動車道開通による交通網の発展を契機とした、県外における福井の恐竜を全面に推し出したPR強化、ブランドキャラクターを活用した恐竜ビジネスの推進が必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] ジュラチック新規商品開発数 令和4年度 7件 令和5年度 16件 令和6年度 16件						
[事業目的] 公式恐竜ブランドキャラクター「Juratic」を活用し、新たな商品開発と販路拡大を進め、全国に「恐竜といえば福井」を発信する。												
[事業内容] <商品開発販売の促進> (1)「Juratic」デザインの監修 ・「Juratic」を活用した商品の開発にあたってのデザイン監修 ・県内外の事業者に対する商品開発に向けた直接営業 <広報宣伝活動の強化> (2)県内外での「JuraticPR隊」の広報宣伝活動 ・着ぐるみとMCによる効果的な宣伝活動を県内外で実施 ・県内:恐竜博物館・保育園・幼稚園等、大型ショッピングセンター、各種イベント ・県外:大型商業施設、県外観光地等でのイベント実施												
[受益者] 県内観光客						[想定される受益者数] 17,598千人(R5観光客入込数)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)					事業名		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担)		事業名		
市町との連携状況						他県の状況						

恐竜ブランドキャラクタービジネス促進強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	斉藤 輝幸		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 区分	事業 開始 年度	H24 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	- 年度
事業実施方法	直営、委託					□ 法定受託事務					経過年数		
補助率											14 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	9,544			1,157	8,387								
[予算額の推移等]												(単位:千円)	
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		10,289	10,553	10,553	10,240	9,544	令和7年度は、営業を強化し歳入を増額、出向宣伝業務の見直しにより歳出を減額。						
2月現計予算額の推移		9,689	10,553	10,553	10,240								
決算額の推移		9,248	10,198	10,441									
前年度までの 主な増減理由		令和6年度については、出向宣伝業務の実績により減額											
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	ジュラチック累計商品数 (アイテム数)	(397) 実績 405	(427) 421	(457) 437	(487)	(517)	(800)	(1,500)					
活動指標	商品・サービスの商品支援 (監修)件数	(397) 実績 405	(427) 421	(457) 437	(487)	(517)	(800)	(1,500)					
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
令和5年度における商品開発数(累計)は新規16件となっており、令和4年度より増加している。				新規商品開発数を増加させるため、令和7年度はより積極的な営業活動を実施していく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

恐竜博物館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課		課長名	齊藤 輝幸		
事業主体		実行委員会			事務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開 始 年 度	H12 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	-	年度	
事業実施方法		負担金		経過年数						26 年				
補助率		-												
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [3 楽しみを広げる(創造力)]		政策 [9 北陸新幹線効果を最大化・持続化]		関連する県の計画等		[]						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]								
社会教育施設として、学びの場を設け続けていくことが重要														
[事業目的]														
恐竜博物館来館者に対して新しい知識や情報を提供し、恐竜をはじめとする古生物学への見識と関心を広めるため、定期的に企画展を開催する。														
[事業内容]														
獣脚類をテーマとした企画展を開催し、史上最大の肉食恐竜スピノサウルスの全身復元骨格やメガロサウルスの実物化石等を展示する。 ・展示内容 4種の獣脚類に着目し、それぞれの系統の進化史を紹介(予定) ・開催期間 令和7年7月11日(金)～11月3日(月)の116日間(予定)														
[受益者] 特別展入場者						[想定される受益者数] 28.4万人								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)					事業名		関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担)			事業名	
市町との連携状況						他県の状況								

恐竜博物館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	齊藤 輝幸		
事業主体	実行委員会					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H12 年度 経過年数 26 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	- 年度
事業実施方法	負担金												
補助率	-												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	125,497			(諸) 180,404	△ 54,907								
[予算額の推移等] (単位:千円)													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		59,921			115,472	125,497	借用資料運送等にかかる経費の増						
2月現計予算額の推移		59,921			115,472								
決算額の推移		59,921											
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	特別展観覧者数 (目標) (250,000) 実績 165,617				(296,000) 334,423	(284,000)			直近の実績をもとに算出				
活動指標	開催日数 (目標) (108) 実績 124				(116) 116	(116)							
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
リニューアル後初の特別展「バッドランドの恐竜たち ～北アメリカの1億年～」を開催				獣脚類をテーマとした企画展を開催				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

「ポケモン化石博物館」開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課		課長名	斉藤 輝幸
事業主体	実行委員会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 3 楽しみを広げる(創造力) 〕 政策〔 9 北陸新幹線効果を最大化・持続化 〕				関連する県の計画等		〔 〕					
[解決すべき問題・課題] 年間入館者数140万人達成のためには、新たな客層の獲得および閑散期対策が必要						[問題・課題を表す客観的データ]						
[事業目的] 国内外のポケモンファンを取り込み、本企画展を通して恐竜博物館にも興味を持っていただくことで、新幹線開業後も継続的に博物館への誘客を促進する。												
[事業内容] ・実施内容 : 「カセキポケモン」の実物大型模型展示 「カセキポケモン」と「化石・古生物」の骨格展示 「カセキポケモン」のイラストパネル等の展示 特別講師による講演、「ポケモン×古生物」ワークショップの開催 ・開催期間 : 令和7年3月8日(土)～5月25日(日) 79日間(うち休館日4日)												
[受益者] 特別展入場者						[想定される受益者数] 16.7万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)				事業名		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担)		事業名			
市町との連携状況							他県の状況					

「ポケモン化石博物館」開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	斉藤 輝幸			
事業主体		実行委員会			事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業開始年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法		負担金				□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率		-				□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	0			(諸) 206,858	△ 206,858									
[予算額の推移等] (単位:千円)														
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					168,091		令和7年度は歳入予算のみ計上							
2月現計予算額の推移					168,091									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	ポケモン展観覧者数 (目標) 実績				(47,000)	(120,000)								
活動指標	開催日数 (目標) 実績				(24)	(55)								
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価						
令和7年3月8日から「ポケモン化石博物館」を開催				令和7年5月25日まで同企画展を開催				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

恐竜博物館開館25周年記念準備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課		課長名	斉藤 輝幸
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、委託			経過年数								
補助率	-			2 年								
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 北陸新幹線効果を最大化・持続化]				関連する県の計画等	[]						
[解決すべき問題・課題] 25周年を記念し、常設展示室においても魅力向上のため展示更新が必要						[問題・課題を表す客観的データ] H21～:カマラサウルス実物全身骨格展示 H27～:アロサウルスの実物全身骨を含む実物全身骨格化石等34点の展示 R1～:バシロサウルス全身骨格化石を含む4体を季節展示と入れ替え						
[事業目的] 令和7年7月に迎える恐竜博物館開館25周年を記念して、3面ダイノシアターの新作制作等により、恐竜博物館の魅力向上・来館者の満足度向上を図る。												
[事業内容] ・開館25周年記念出版事業 博物館が手掛け学術上大きな成果を上げてきた発掘調査や研究成果等を1冊に纏めた書籍を制作し販売する。 ・大型三面映像3作目の制作 現在上映している大型3面映像「福井編」、今冬上映予定の「ララミディア大陸編」に続く目玉映像として、完全新作映像を制作する。 ・恐竜博物館限定アニメーション映画の制作 館内講堂で上映されている恐竜アニメ映画は、開館20周年を記念し制作したが、劇中に登場する恐竜博物館外観や展示内容がリニューアルオープン前の内容であるため、開館25周年を記念し全国的に人気のあるキャラクターを使用した20～25分程度のオリジナル新作映画を新たに制作する。 ①ティラノがやってくる！(原作:宮西達也 脚本:ポプラ社)												
[受益者] 恐竜博物館来館者						[想定される受益者数] 140万人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 (実績) 事業名					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 (役割分担) 事業名					
市町との連携状況						他県の状況						

恐竜博物館開館25周年記念準備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	斉藤 輝幸	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	-											
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	116,184				(入) (諸) 102,000	14,184	地域振興基金積立金					
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移						18,269	116,184	大型3面映像制作のため(令和6年度当初予算において債務負担行為設定)				
2月現計予算額の推移						18,269						
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	恐竜博物館来館者数	(目標) 実績	(1,000,000) 421,838	(1,000,000) 600,667	(1,000,000) 846,433	(1,150,000)	(1,200,000)	(1,200,000)	(1,400,000)	北陸新幹線福井・敦賀開業・中部縦貫自動車道の効果を最大限活用し、140万人を目指す		
活動指標	大型三面映像の制作	(目標) 実績					(1)					
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
・アニメーション映画の発注、契約 ・大型三面映像3作目の発注、契約				・開館25周年を記念した書籍の出版 ・大型三面映像3作目の制作・公開 ・アニメーション映画の制作・公開				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

恐竜博物館営業強化事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課		課長名	齊藤 輝幸
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	委託											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 北陸新幹線効果を最大化・持続化]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
中京圏を中心とした営業活動強化および新たな企画の発掘が必要。												
[事業目的]												
恐竜博物館の入館者目標140万人達成に向け、博物館リニューアル・北陸新幹線県内延伸効果を維持しながら、中部縦貫自動車道開通等の好機を最大限活用する。												
[事業内容]												
地域おこし協力隊制度を用いて、三大都市圏の旅行会社への営業や学校訪問等を行い、恐竜博物館を含む福井県へのツアー造成や教育旅行を誘致する。 <活動内容> ・旅行会社に対するツアー造成の働きかけ ・教育旅行誘致、団体旅行等誘致 ・県内外のイベントや博物館等への訪問 ・県内外イベント等における出向宣伝												
[受益者] 恐竜博物館来館者						[想定される受益者数] 140万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)					事業名		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担)		事業名		
市町との連携状況						他県の状況						

恐竜博物館営業強化事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	斉藤 輝幸	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	委託											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	4,125				4,125							
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移							4,125					
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	恐竜博物館入館者数	(目標) 実績	(1,000,000) 421,838	(1,000,000) 600,667	(1,000,000) 846,433	(1,150,000)	(1,200,000)	(1,200,000)	(1,400,000)	北陸新幹線福井・敦賀開業・中部縦貫自動車道の効果を最大限活用し、140万人を目指す		
活動指標	地域おこし協力隊の採用	(目標) 実績					(1)					
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

パーク&バスライド推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課		課長名	齊藤 輝幸
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	- 年度
事業実施方法	委託											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 北陸新幹線効果を最大化・持続化]	関連する県の計画等		[]								
[解決すべき問題・課題] 恐竜博物館の入館者数が増加しているなか、駐車場不足により周辺道路が渋滞している。						[問題・課題を表す客観的データ] 令和6年度 大規模渋滞発生日数 5日						
[事業目的] 恐竜博物館への入館者数が増加しているなか、パーク&バスライドを実施することにより、繁忙期における勝山市内での渋滞発生状況の改善を図る。												
[事業内容] ・臨時駐車場からのシャトルバスの運行 臨時駐車場設置場所:道の駅隣接地、越前大仏駐車場 実施日:ゴールデンウィーク、お盆、SW等 ・ノベルティの配布による利用促進												
[受益者] 恐竜博物館来館者						[想定される受益者数] 140万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績) 事業名					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担) 事業名					
市町との連携状況	勝山市と協力してパーク&バスライドを実施					他県の状況						

パーク&バスライド推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	齊藤 輝幸		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 区分	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	- 年度
事業実施方法	委託					□ 法定受託事務							
補助率	-												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	17,010				17,010								
[予算額の推移等] (単位:千円)													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		17,704			14,747	17,010	バス運行日数の増						
2月現計予算額の推移		17,704			14,747								
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	恐竜博物館入館者数	(目標) (1,000,000) 実績 421,838	(1,000,000) 600,667	(1,000,000) 846,433	(1,150,000)	(1,200,000)	(1,200,000)	(1,400,000)	北陸新幹線福井・敦賀開業・中部縦貫自動車道の効果を最大限活用し、140万人を目指す				
活動指標	シャトルバス運行台数	(目標) (108) 実績			(81) 81	(99)							
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
令和6年度 大規模渋滞発生日数 5日				バス運行日数の増				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

第5次恐竜化石発掘調査準備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課		課長名	齊藤 輝幸
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	委託											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 北陸新幹線効果を最大化・持続化]					関連する県の計画等	[]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
恐竜研究の拠点化、展示の充実により、教育文化施設として来館者に最先端の恐竜研究成果を提供する必要がある。						令和5年度入館者数 846,433人						
[事業目的]												
勝山市北谷の地層において、第4次発掘に引き続き実施する化石発掘調査にかかる準備を行う。												
[事業内容]												
令和3年度・・・準備工事にかかる測量設計等 令和4年度・・・残土処分にかかる測量設計等 令和5年度・・・土砂災害の崩落エリアにかかる修正測量設計等 令和6年度・・・道路整備等の仮設工事 令和7年度・・・発掘予定岩石を覆っている表土部の除去 令和8年度・・・表土部の除去、調査開始												
[受益者] 恐竜博物館来館者						[想定される受益者数] 約140万人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 第4次恐竜化石発掘調査事業 (実績) 化石発見数: 20,000点以上(ティラノミムスの発表等を含む)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

第5次恐竜化石発掘調査準備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	斉藤 輝幸	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	委託											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	36,300				36,300							
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		15,605	14,994	6,594	116,168	36,300	仮設道工事終了による減					
2月現計予算額の推移		10,930	14,994	6,594	116,168							
決算額の推移		10,851		1,589								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								発掘調査実施のための準備であり、成果指標の設定にはなじまない			
活動指標	(目標) 実績								発掘調査実施のための準備であり、活動指標の設定にはなじまない			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
仮設道工事、ボーリング調査の発注				引き続き、発掘調査準備を進める				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

アジア恐竜シンポジウム開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課		課長名	齊藤 輝幸		
Z		県			事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	- 年度		
事業実施方法	直営、委託													
補助率	-													
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 北陸新幹線効果を最大化・持続化]			関連する県の計画等		[]							
[解決すべき問題・課題] アジアの恐竜に特化した研究成果の発表や、アジア各国が共同で発掘成果等の情報発信を行う						[問題・課題を表す客観的データ]								
[事業目的] 「第6回アジア恐竜国際シンポジウム」を開催し、研究成果の発表等により、アジアの恐竜研究の更なる発展を図るとともに、恐竜博物館を国内外に広くアピールする。														
[事業内容] ・事業内容 国際シンポジウムの開催 講演など一般向け普及行事の開催 ・開催時期 令和7年9月26日(金)～28日(日) ・開催場所 福井県立大学、福井県立恐竜博物館														
[受益者] 恐竜博物館来館者						[想定される受益者数] 140万人								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)					事業名		関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担)			事業名	
市町との連携状況						他県の状況								

アジア恐竜シンポジウム開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	斉藤 輝幸		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 区分	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	- 年度
事業実施方法	直営、委託					□ 法定受託事務							
補助率	-												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	12,649				12,649								
[予算額の推移等] (単位:千円)													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移						12,649							
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由	平成25年度のみ開催。 それ以降、福井県での開催実績なし												
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	恐竜博物館入館者数	(目標) 実績	(1,000,000) 421,838	(1,000,000) 600,667	(1,000,000) 846,433	(1,150,000)	(1,200,000)	(1,200,000)	(1,400,000)	北陸新幹線福井・敦賀開業・中部縦貫自動車道の効果を最大限活用し、140万人を目指す			
活動指標	開催日数	(目標) 実績					(3)						
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
					「第6回アジア恐竜国際シンポジウム」を開催				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
									<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

中部縦貫自動車道の工事に伴う化石調査事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課		課長名	齊藤 輝幸
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 北陸新幹線効果を最大化・持続化]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 恐竜研究の拠点化、展示の充実により、教育文化施設として来館者に最先端の恐竜研究成果を提供する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 令和5年度入館者数 846,433人						
[事業目的] 中部縦貫自動車道のトンネル工事が勝山市北谷の恐竜化石発掘現場と同じ手取層群が分布する地域において行われることから、当該地域において化石調査等を実施する。												
[事業内容] (1)調査内容 ・中部縦貫自動車道工事に伴い排出された岩石の化石調査 ・工事近隣の大野市和泉地区および五箇地区における手取層群の化石探索 ・脊椎動物化石算出が判明した五箇地区仏原における発掘作業、調査 (2)調査場所 ・中部縦貫自動車道の各工事現場(現地調査)、角野ストックヤード・大納ストックヤード(小割調査) ・化石算出が見込める和泉地区および五箇地区の手取層群の分布域												
[受益者] 恐竜博物館来館者						[想定される受益者数] 約140万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)					事業名		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担)		事業名		
市町との連携状況	大野市との共同調査					他県の状況						

中部縦貫自動車道の工事に伴う化石調査事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	斉藤 輝幸			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率	-					□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	2,304				2,304									
[予算額の推移等]												(単位:千円)		
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		2,608	2,608	2,608	2,304	2,304								
2月現計予算額の推移		655	2,608	2,608	2,304									
決算額の推移		654	1,733	602										
前年度までの 主な増減理由	仏原地区の年代測定完了のため、委託費用減													
[成果指標等の推移]														
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	(目標) 実績								研究内容によって変動するため、目標数値の設定にはなじまない。					
活動指標	(目標) 実績								研究内容によって変動するため、目標数値の設定にはなじまない。					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価						
<令和5年度実績> ・五箇地区仏原において集中的な調査を実施 ・岩石小割調査を実施して化石を収集				引き続き発掘調査を実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

国内恐竜化石等共同調査研究事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課		課長名	齊藤 輝幸
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H22 年度 経過年数 16 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 北陸新幹線効果を最大化・持続化]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 国内における恐竜研究の拠点化とネットワークの形成、展示の充実						[問題・課題を表す客観的データ] 共同研究実施自治体数:4自治体						
[事業目的] 県外の恐竜をはじめとした学術価値および注目度の高い化石を対象に、その産出地組織である4自治体(長崎市、天草市、岐阜県、徳島県)と共同発掘を含む研究調査や化石クリーニングを行うことにより、国内における恐竜研究の拠点化とネットワークの形成を図るとともに、恐竜博物館内の展示の充実につなげていく。												
[事業内容] (1)九州地方恐竜・哺乳類化石プロジェクト ・長崎市 ・天草市立御所浦白亜紀資料館 (2)中部地方恐竜化石プロジェクト ・岐阜県博物館 (3)四国地方恐竜化石プロジェクト ・徳島県立博物館												
[受益者] 恐竜博物館来館者						[想定される受益者数] 約140万人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 (実績)	事業名				関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 海外恐竜化石調査共同研究事業 (役割分担) 海外における共同研究は、海外恐竜化石調査共同研究事業において実施					
市町との連携状況						他県の状況						

国内恐竜化石等共同調査研究事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	斉藤 輝幸			
事業主体		県			事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H22 年度 経過年数 16 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法		直営、委託				□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率		-				□ その他								
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	1,800				1,800									
[予算額の推移等]													(単位:千円)	
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		2,040	1,890	1,800	1,800	1,800								
2月現計予算額の推移		2,040	1,890	1,800	1,800									
決算額の推移		1,927	1,615	1,191										
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	(目標) 実績								研究内容によって変動するため、目標数値の設定にはなじまない。					
活動指標	共同研究相手自治体等 (目標) 実績	(4) 4	(4) 4	(4) 4	(4) 4	(4)			長崎市、天草市、岐阜県、徳島県の4自治体					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
<令和6年度実績> ・長崎市、天草市、岐阜県、徳島県での調査を継続					引き続き発掘調査を実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
									<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

海外恐竜化石調査共同研究事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	斉藤 輝幸	
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 15 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 北陸新幹線効果を最大化・持続化]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
国際的な恐竜研究の拠点化とネットワークの形成、展示の充実						共同研究国数:3か国						
[事業目的]												
国外の恐竜をはじめとした学術価値および注目度の高い化石を対象に、その産出国と共同研究、研究調査、化石調査等を行うことにより、恐竜博物館の国際的な拠点化と恐竜研究ネットワークの形成を図るとともに、恐竜博物館内の展示の充実につなげていく。												
[事業内容]												
(1)タイにおける恐竜化石の発掘調査 ・姉妹提携機関であるシリントーン博物館および珪化木鉱物資源東北調査研究所と共同で、タイ東北部における恐竜化石発掘調査を実施 ・恐竜博物館の研究員が現地(タイ東北部)に赴き、発掘調査指導および化石クリーニング指導を実施するとともに、共同調査を実施 ・姉妹館関係を締結したタイ・シリントーン博物館との研究交流を実施 (2)中国における恐竜化石の共同研究円 ・姉妹提携機関である中国浙江省の浙江自然博物館の研究員らとの共同で、恐竜化石研究を実施 (3)アメリカにおける恐竜化石の発掘調査 ・モンタナ州立大付属ロッキー博物館との共同発掘調査 ・恐竜博物館の研究員が現地に赴き、共同調査を実施 ・姉妹館関係を締結したロッキー博物館との研究交流を実施												
[受益者] 恐竜博物館来館者						[想定される受益者数] 約140万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)	事業名				関連事業の有無・役割分担						
							<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 国内恐竜化石等共同調査研究事業 (役割分担) 国内における共同研究は、恐竜化石等共同調査研究事業において実施					
市町との連携状況						他県の状況						

海外恐竜化石調査共同研究事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	斉藤 輝幸				
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H23 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度	
事業実施方法	直営、委託											経過年数			15 年
補助率	-														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等								
予算額	28,889					28,889									
[予算額の推移等]												(単位:千円)			
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移		25,551	24,828	25,551	24,970	28,889	アメリカにおける恐竜化石の発掘調査の実施								
2月現計予算額の推移		1,535	18,183	25,551	20,038										
決算額の推移		1,504	15,807	12,189											
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	(目標) 実績								研究内容によって変動するため、目標数値の設定にはなじまない。						
活動指標	(目標) 実績	(2) 2	(2) 2	(2) 2	(2) 2	(3)							タイ、中国、アメリカの3か国		
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価						
<令和6年度実績> タイにおいて共同研究を実施。中国での共同研究については、当局の国家安全対策の方針により研究に支障が出たため一時休止とする。新たに姉妹提携機関であるモンタナ州立大付属ロッキー博物館との共同発掘調査を開始する。					中国での共同研究については、当局の国家安全対策の方針により研究に支障が出たため一時休止とする。新たに姉妹提携機関であるモンタナ州立大付属ロッキー博物館との共同発掘調査を開始する。				<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

地域振興基金積立金

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課		課長名	斉藤 輝幸	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H22 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	-	年度
事業実施方法	直営			経過年数						16 年			
補助率	-												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 北陸新幹線効果を最大化・持続化]				関連する県の計画等		[]						
[解決すべき問題・課題] 基金への積立金であり、問題・課題の設定にはなじまない						[問題・課題を表す客観的データ] 令和5年度入館者数 846,433人							
[事業目的] 恐竜博物館のさらなる魅力向上のために、ミュージアム・アップバリュー制度に基づき恐竜博物館観覧料の一部を地域振興基金へ積立													
[事業内容] ・恐竜博物館のさらなる魅力向上のために、ミュージアム・アップバリュー制度に基づき恐竜博物館観覧料の一部を地域振興基金へ積立 ※ミュージアムアップバリュー制度 恐竜の化石など博物館の収蔵品について機動的な先行投資を行い、魅力の向上に合わせて料金を引き上げることにより、投資を回収する本県独自の制度													
[受益者] 恐竜博物館来館者						[想定される受益者数] 約140万人							
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 (実績) 事業名					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況							

地域振興基金積立金

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	斉藤 輝幸	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H22 年度 経過年数 16 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	- 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	161,620			(使) 161,620								
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		90,714	74,240	157,900	154,870	161,620	観覧料収入の増					
2月現計予算額の推移		49,354	67,585	136,850	168,314							
決算額の推移		49,354	67,585	136,850								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								観覧料収入の一部を地域振興基金に積み立てるものであり、成果指標の設定にはなじまない			
活動指標	(目標) 実績											
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
<令和6年度実績> 168,314千円を積立。積立総額400,922千円								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

オーベルジュ誘致推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課		課長名	斉藤 輝幸
事業主体	民間企業				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助									経過年数		
補助率	1/4									5 年		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 北陸新幹線効果を最大化・持続化]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、首都圏等からの富裕層に対応したオーベルジュを整備し、受入環境の整備が必要						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県観光客入込数 令和5年:15,191千人(令和6年目標:20,000千人)						
[事業目的] 地域の食材等を活かした宿泊機能付きレストラン(オーベルジュ)を誘致し、県内各地において食で稼ぐ環境を整備する。												
[事業内容] 世界的に評価の高いシェフが料理を提供するレストランを有するオーベルジュの整備を支援 補助内容 用地造成および施設・設備整備費 補助率 県1/4 補助上限額 2.5億円												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 事業所数:4,657(R3経済センサス-活動報告)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)					事業名		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担)		関連事業の有無・ 役割分担		
市町との連携状況								他県の状況				

オーベルジュ誘致推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	斉藤 輝幸		
事業主体	民間企業					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助												
補助率	1/4												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額													
[予算額の推移等] (単位:千円)													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		制度創設		250,000	250,000		令和6年度中に新規申請の提出なし						
2月現計予算額の推移				250,000	250,000								
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	観光消費額(億円) (目標) 実績	849	1,058	1,255	(1,700)	(1,700)	(1,700)	(1,700)	ネクストふくい観光ビジョン(仮称)				
活動指標	オーベルジュ整備施設数 (目標) 実績			(1)	(1)	(1)	(6)	(6)					
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
<令和6年度実績> ・「オーベルジュほまち三国湊」の事業が完了し、補助金を交付。 ・「歓宿縁 ESHIKOTO」が11月26日に開業し、事業完了後、補助金を交付。				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	250,000		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

「食で稼ぐ」地域づくり推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課		課長名	斉藤 輝幸
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託			経過年数								
補助率	-			4 年								
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 北陸新幹線効果を最大化・持続化]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業後も、食による誘客拡大を図るため、飲食店における料理やサービスの向上等のスキルアップが急務である						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県観光客入込数 令和4年:15,191千人(令和6年目標:20,000千人)						
北陸新幹線福井・敦賀開業後も、高品質な料理やサービスを提供できる人材を育成し、「食で稼ぐ」地域づくりを推進する。												
[事業内容] 都市圏で活躍するトップシェフ等による料理講習「サスティナブル・カリナリー・カレッジ」の運営												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 事業所数:4,657(R3経済センサス-活動調査)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)					事業名		関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担)		
市町との連携状況						他県の状況						

「食で稼ぐ」地域づくり推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	斉藤 輝幸	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		34,442	18,493	10,205		事業廃止による						
2月現計予算額の推移		34,442	18,493	10,205								
決算額の推移		34,167	17,736									
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	観光消費額(億円)	(目標) 実績	849	1,058	1,225	(1,700)			令和6年目標値 1,700億円(ふくい観光ビジョン)			
活動指標	延べ受講人数	(目標) 実績		170	285	(200) 205			令和6年度は令和7年2月10日時点の人数			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
・「サステナブル・カリナリー・カレッジ」10回以上の実施により、延べ人数200名以上への講習が実施できた。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	10,205	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

ふくいの食ブランド力向上事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課		課長名	斉藤 輝幸
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 北陸新幹線効果を最大化・持続化]					関連する県の計画等		[]				
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
北陸新幹線福井・敦賀開業後、「食で稼ぐ」環境を整備するため、福井県の食ブランド向上につながる飲食店の開設が急務						福井県観光客入込数 令和4年:15,191千人(令和6年目標:20,000千人)						
[事業目的]												
北陸新幹線福井・敦賀開業後、「食で稼ぐ」環境を整備するため、福井県の食ブランド向上につながる飲食店等の開設やポップアップ店舗を支援し、魅力的な食を楽しむ「場」の拡大を図る。												
[事業内容]												
(1)福井県の食ブランドの向上につながる飲食店の開設経費を支援 審査会を実施し、外部の専門家の意見をもとに補助対象事業(4件/年)を選定 ①補助要件 ・国内外から集客できるシェフが上質な料理を提供すること ・新規に独立、開業をする店舗であること(移転は除く) ・県がターゲットとする客層(富裕層)に合致していること 等 ②対象経費 ・店舗改修費、厨房設備費等 ③補助率 ・県 1/2(補助上限:8,000千円) (2)県内初めての業態で出店を行う企業の市場調査を実施 ①選定企業 ・県内初めての業態での出店であること ・その店の出店が他企業の出店にもいい影響を与えられること 等 ②調査方法 ・POP UP店舗の整備による市場調査 ③対象企業数・上記を満たす企業2社程度												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 事業所数:4,657(R3経済センサス-活動調査)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

ふくいの食ブランド力向上事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	斉藤 輝幸	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			40,156	40,168	38,768							
2月現計予算額の推移			30,713	23,441	38,704							
決算額の推移			30,617	23,441								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光消費額(億円) (目標) 実績	849	1,058	1,225	(1,700)				令和6年目標値 1,700億円(ふくい観光ビジョン)			
活動指標	福井県の食ブランドの向 上につながる飲食店の開 業数 (目標) 実績		(5) 5	(5) 4	(4) 4			(25) 13	食ブランド向上につながる店舗			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
・事業実績 飲食店4件の開設を支援 ・GODIVA、ピエール・エルメの2店舗のPOP UP店舗誘致を実現								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	38,768	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

「蘭学」を活かした歴史魅力発信事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課		課長名	斉藤 輝幸
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 北陸新幹線効果を最大化・持続化]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
福井県が有する歴史・文化を発信し、福井県の知名度、魅力度の向上や観光誘客につなげる						福井県観光客入込数 令和4年:15,191千人(令和6年目標:20,000千人)						
[事業目的]												
大河ドラマだけに頼ることなく、歴史上の絶対的スターとの関係などを前面に出し、福井の歴史の魅力を全国に発信する。												
[事業内容]												
(1)蘭学を活用した福井の魅力発信 東京、大阪などの都市圏において蘭学を活かした福井のプロモーション (2)大阪適塾記念センターとの連携事業 大阪、長崎など蘭学に関係が深い自治体等と連携し、講演会等を開催ア (3)ツアー造成 福井の歴史を巡るツアーの造成												
[受益者] 県内観光客						[想定される受益者数] 15,191千人(R4年観光客入込数)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)					事業名		関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担)		
市町との連携状況								他県の状況				

「蘭学」を活かした歴史魅力発信事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	斉藤 輝幸	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移						13,817		「福井の歴史を活用した魅力発信事業」に統合				
2月現計予算額の推移						13,817						
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	観光客入込数(千人)	(目標) 実績	12,356	15,191						令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2~R6)		
活動指標	蘭学関連のシンポジウム	(目標) 実績				(1) 1						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
令和6年8月10日(土)に小浜市にて「蘭学サミット」を開催。県内外から約400名が参加				「福井の歴史を活用した魅力発信事業」に統合				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	13,817	
								<input checked="" type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

野外恐竜博物館10周年記念事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	斉藤 輝幸	
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 3 楽しみを広げる(創造力) 〕 政策〔 9 北陸新幹線効果を最大化・持続化 〕					関連する県の計画等	〔 〕					
[解決すべき問題・課題] 野外恐竜博物館10周年を記念し、野外恐竜博物館の魅力向上、参加者の満足度向上のための施策が必要						[問題・課題を表す客観的データ] 恐竜博物館10周年:カマラサウルス実物全身骨格展示 恐竜博物館15周年:アロサウルスの実物全身骨を含む実物全身骨格化石等34点の展示 恐竜博物館20周年:バシロサウルス全身骨格化石を含む4体を季節展示と入れ替え						
[事業目的] 令和6年に10周年を迎える野外恐竜博物館の記念事業を実施し、野外恐竜博物館の魅力向上、参加者の満足度向上を図る。												
[事業内容] ・記念セミナー 開館10周年を迎えた当日に、記念式典を開催する。 ・発掘現場特別見学 令和6年度は北谷層での発掘調査が行われないこともあり、参加者により近くで化石発掘現場をご覧いただき、魅力度、満足度の向上につなげる。 ・10周年記念持ち帰り箱の製作 化石発掘体験において、参加者が化石を持ち帰るための箱を10周年仕様に作り変えることで、参加者の満足度向上につなげる。 ・発掘現場を模した擬岩の制作設置 発掘現場に対する理解を深めてもらうため、実際に現場から採取した岩石を一部埋め込んだ擬岩を制作する。												
[受益者] 野外恐竜博物館来館者						[想定される受益者数] 44,100人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)					事業名		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

野外恐竜博物館10周年記念事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	斉藤 輝幸					
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度					
事業実施方法	直営、委託															
補助率	-															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額																
[予算額の推移等] (単位:千円)																
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由										
当初予算額の推移				23,416												
2月現計予算額の推移				22,437												
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠								
成果指標	野外恐竜博物館参加者数	(目標)				(44,100)		(44,100)								
		実績				31,088										
活動指標		(目標)														
		実績														
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価								
R6で事業完了								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	23,416					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

第4次恐竜化石発掘調査事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課		課長名	斉藤 輝幸
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H25 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、委託			経過年数								
補助率	-			12 年								
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 北陸新幹線効果を最大化・持続化]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 恐竜研究の拠点化、展示の充実により、教育文化施設として来館者に最先端の恐竜研究成果を提供する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 令和5年度入館者数 846,433人						
[事業目的] 平成元年から継続的に行われてきた恐竜化石調査事業は、平成25年度から第4次発掘調査を実施しており、これまでの調査で多くの恐竜化石を発掘してきた。発掘後、クリーニングがされていない標本から多くの成果を得られることが期待できるため、クリーニング業務を実施												
[事業内容] 事業内容 ・掘削工事 (平成25年度～令和4年度) ・発掘調査 (平成25年度～令和4年度) ・クリーニング(平成25年度～令和6年度)												
[受益者] 恐竜博物館来館者						[想定される受益者数] 約140万人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 第3次恐竜化石発掘調査事業 (実績) 化石発見数:2,100点(フクイティタンの発表等を含む)					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

第4次恐竜化石発掘調査事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	斉藤 輝幸	
事業主体		県			事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法		直営、委託										
補助率		-										
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額												
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移			23,873	23,873	23,957	5,300						
2月現計予算額の推移			19,596	22,535	23,957	5,300						
決算額の推移			17,809	18,544	16,565							
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	(目標) 実績									研究内容によって変動するため、目標数値の設定にはなじまない		
活動指標	調査日数	(目標) 実績	(42) 46	(42)	(42) 31					令和6年度はクリーニングのみ		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価						実績を踏まえた令和7年度の変更点			事業評価			
R6で事業完了									<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	5,300
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

三大都市圏(東京・大阪・名古屋)における百貨店と共同した恐竜王国PR事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課		課長名	齊藤 輝幸
事業主体		民間企業			事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法		負担金										
補助率		-										
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 北陸新幹線効果を最大化・持続化]			関連する県の計画等	[]						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
恐竜博物館のリニューアルオープンや北陸新幹線開業により福井県の注目度が高まるこの機会を活かし、福井県への観光客を増加させる必要がある						福井県観光客入込数 令和5年:17,598千人(令和6年目標:20,000千人)						
[事業目的]												
恐竜博物館のリニューアルオープンや北陸新幹線の開業により、福井県への注目度が高まる中、大都市圏の百貨店において福井の恐竜コンテンツと百貨店が持つ顧客や立地駅利用者への訴求力を活用した恐竜イベントを開催することにより、本県への誘客促進、北陸新幹線大阪延伸の機運醸成を図る。												
[事業内容]												
○開催期間・場所 令和6年7月17日(水)～7月29日(月) 高島屋新宿店 同 7月31日(水)～8月12日(月・祝) JR名古屋タカシマヤ 同 8月14日(水)～9月 2日(月) 高島屋大阪店												
○実施内容 「発掘 恐竜王国展」 ①デジタル技術を使った、福井の恐竜化石などを探す「デジタル化石発掘体験」 ②恐竜王国福井の紹介(福井で恐竜化石が多く出る理由、勝山での化石発掘映像、使用する道具の展示など) ③福井で発見された恐竜全身骨格の展示 ④企画展案内役キャラクターにジュラチックを採用 ⑤恐竜博物館のオリジナルグッズやジュラチックグッズ等の販売												
[受益者] 県内観光客						[想定される受益者数] 17,598千人(R5年観光客入込数)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)					事業名		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担)		関連事業の有無・役割分担		
市町との連携状況										他県の状況		

三大都市圏(東京・大阪・名古屋)における百貨店と共同した恐竜王国PR事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	斉藤 輝幸		
事業主体	民間企業					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	負担金								□ 補助金				
補助率	-								□ その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額													
[予算額の推移等] (単位:千円)													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					30,000								
2月現計予算額の推移					30,000								
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) 実績	(18,000) 12,356	(18,500) 15,191	(19,000) 17,598	(20,000)	(17,500)	(20,000)	令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)				
活動指標		(目標) 実績											
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
R6で事業完了								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	30,000		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

大手マスメディアと連携した首都圏における恐竜王国福井PR事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課		課長名	齊藤 輝幸
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、委託			□ 補助金				経過年数				
補助率	-			□ その他				2 年				
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 北陸新幹線効果を最大化・持続化]				関連する県の計画等	[]						
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線が開業し、関東圏からの交通の便が良くなったこの機会を活かし、福井県への観光客を増加させる必要がある						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県観光客入込数 令和5年:17,598千人(令和6年目標:20,000千人)						
[事業目的] 首都圏において、発信力の高い大手マスメディアと連携して、効果的に恐竜王国福井のPRを実施することで、本県への誘客の促進を図る。												
[事業内容] ・読売巨人軍と連携したプロ野球巨人・広島戦「恐竜王国福井デー」開催事業 実施内容:5月29日(土)に東京ドームで開催されたプロ野球 巨人・広島戦に合わせ下記企画を実施 ・大型ビジョン、東京ドーム内外サイネージでの恐竜博物館・福井県観光PR映像の放映 ・ジュラチック着ぐるみパフォーマンス ・恐竜・観光PRブースの設置 ・知事から両球団選手への特産品の贈呈 ・来場者への恐竜博物館、福井県観光パンフレット、恐竜グッズ等の配布												
[受益者] 県内観光客						[想定される受益者数] 17,598千人(R5年観光客入込数)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

大手マスメディアと連携した首都圏における恐竜王国福井PR事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	魅力創造課	課長名	斉藤 輝幸	
事業主体		県			事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法		直営、委託										
補助率		-										
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額												
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移						5,339						
2月現計予算額の推移					85,000	5,339						
決算額の推移					85,000							
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標)	(18,000)	(18,500)	(19,000)	(20,000)		(17,500)	(20,000)	令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)		
		実績	12,356	15,191	17,598							
活動指標		(目標)										
		実績										
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価			
R6で事業完了									<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	5,339
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	